

参考文献一覧

第1章

第1節について

経済企画庁（1999）「平成11年度年次経済報告」

経済産業省・厚生労働省・文部科学省（2004、2005）「平成15年度及び平成16年度ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告」

経済産業省（2005）「平成12年（2000年）日米国際産業連関表」

須合智広・西崎健司（2002）「わが国における労働分配率についての一考察」金融研究第21巻別冊第1号、日本銀行金融研究所

竹内文英（2004）「労働分配率低下の背景」JCER 研究員レポート No. 53、日本経済研究センター

内閣府（2004）「日本経済2004 —持続的成長の可能性とリスク—」

原田泰・北浦修敏（2002）「自然失業率は上昇しているのか」日本労働研究雑誌 No. 501/April

日本経済新聞社（2004）「市場占有率 2005年版」

Gregory, A. and B. Hansen (1996) “Residual-based Tests for Cointegration in Models with Regime Shifts,” *Journal of Econometrics*, 70, pp. 99-126

Perron, P. (1989) “The Great Crash, the Oil Price Shock, and the Unit Root hypothesis,” *Econometrica*, vol. 57, pp. 1361-1401

Perron, P. and T. J. Vogesang (1993) “Erratum,” *Econometrica*, vol. 61, pp. 248-249

第2節について

天野明弘（1982）「EPA世界経済モデルの構造」経済分析第87号、経済企画庁経済研究所
経済産業省（2005）「海外事業活動基本調査（2004年7月調査）」

村田啓子・斎藤達夫・田邊健・岩本光一郎（2005）「短期日本経済マクロ計量モデル（2005年版）の構造と乗数分析」ESRI Discussion Paper No.152、内閣府経済社会総合研究所

第3節について

岩田規久男・宮川努（2003）「失われた10年の真因は何か」東洋経済新報社

小川一夫・得津一郎（2002）「日本経済：実証分析のすすめ」有斐閣

小野兵太郎・岡内幸策（2003）「不動産の時価評価」東洋経済新報社

黒坂佳央（2002）「オクン法則は成り立っているのか」日本労働研究雑誌 No. 501/April

経済企画庁（1996）「平成8年度年次経済報告」

国土交通省（2005）「平成16年度 土地白書」

財団法人日本不動産研究所「不動産投資家調査（第1～11回）」1999～2005年

内閣府 (2005) 「構造改革評価報告書 4」

日本銀行 (2004) 「2003 年度決算からみた銀行経営の動向」

宮川努・笛田郁子・井上有弘 (2003) 「産業別生産性からみた日本経済の低迷」 J CER REVIEW
Vol. 53、日本経済研究センター

第 4 節について

西崎文平・水田豊・足立直己 (1998) 「財政収支指標の作り方・使い方」 エコノミック・リサーチ No. 4、経済企画庁経済研究所編

Alesina, A., S. Ardagna, R. Perotti and F. Schiantarelli (2002) “Fiscal Policy, Profits, and Investment,” American Economic Review, June 2002, pp.571-589

ECB (2001), “Cyclically Adjusted Budget Balances: An Alternative Approach,” Working Paper, No.77, European Central Bank

Broda, C. and D. Weinstein (2004) “Happy News From the Dismal Science: Reassessing Japanese Fiscal Policy and Sustainability,” NBER Working Paper No.10988

Noord (2000) “The Size and Role of Automatic Fiscal Stabilizers in the 1990s and Beyond,” Economics Department Working Papers, No.230, OECD

第 5 節について

IMF (2005) “World Economic Outlook,” April

第2章

第1節について

- 栗山浩一・茨木秀行・高橋慶子・植田博信・井上崇（2005）「受益と負担についての国民意識に関する考察」経済財政分析ディスカッション・ペーパー DP/05-1、内閣府総務庁（2000）「規制緩和白書」
- 長谷川公一・堀雅博・鈴木智之（2004）「高齢化・社会保障負担とマクロ経済—日本経済中長期展望モデル（Mark I）によるシミュレーション分析」ESRI Discussion Paper No.121、内閣府経済社会総合研究所
- 畑農鋭矢・砂原庸介（2004）「財政支出の決定要因：主要先進諸国の実証分析」PRI Discussion Paper、財務総合政策研究所
- 茂呂賢吾（2004）「政府の規模と経済成長」ESRI Discussion Paper No.103、内閣府経済社会総合研究所
- Conway, P., V. Janod and G. Nicoletti (2005) “Product Market Regulation in OECD Countries: 1998 to 2003,” Economics Department Working Papers No.419, OECD
- Elmeskov, J., J. P. Martin and S. Scarpetta (1998) “Key Lessons for Labour Market Reforms: Evidence from OECD Countries’ Experience,” Swedish Economic Policy Review 5(1998)
- Layard, R., S. Nickell and R. Jackman (1991) “Unemployment: Macroeconomic Performance and the Labour Market,” Oxford University Press
- Nicoletti, G. and S. Scarpetta (2003) “Regulation, Productivity and Growth: OECD Evidence,” Economics Department Working Papers No.347, OECD
- OECD(2001) “Tax and the Economy: A Comparative Assessment of OECD Countries”

第2節について

- 翁百合（2004）「リスクの担い手としての観点からみた政府の役割の検証」フィナンシャル・レビュー73号、財務総合政策研究所
- 財務省（2004）「財政投融资改革の総点検について」、財政制度等審議会財政投融资分科会
- 清水谷諭・野口晴子（2004）「沖縄県における保育サービスの質及び供給効率性の経営主体別比較：マイクロデータによる検証」ESRI Discussion Paper No.98、内閣府経済社会総合研究所
- 総務省（2003）「政府金融機関等による公的資金の供給に関する政策評価書」
- 総務省（2004a）「市区町村における事務の外部委託の実施状況」
- 総務省（2004b）「公の施設の指定管理者制度の導入状況に関する調査結果」
- 内閣府（2003a）「保育サービス市場の現状と課題—保育サービス価格に関する研究会報告書」内閣府物価政策課

- 野田由美子 (2004) 「民営化の戦略と手法－P F I から P P P へ」 日本経済新聞社
- 前中康志・野口晴子 (2005) 「指定管理者制度における受託団体のサービスの質と経営効率性
－マイクロデータによる事業主体別分析－」 経済財政分析ディスカッション・ペーパー
DP/05-2、内閣府
- Clarke, G. R. G and S. J. Wallsten (2002) “Universal Service: Providing Infrastructure
Services to Rural and Poor Urban Consumers,” Policy Research Working Paper No. 2868,
World Bank
- Meggison, W. L. and J. M. Netter (2001), “From State to Market: A Survey of Empirical
Studies on Privatization,” Journal of Economic Literature, June 2001, pp. 321-389
- OECD (2002) “Recent Privatisation Trends in OECD Countries”
- OECD (2003) “Privatising State-owned Enterprises: An Overview of Policies and
Practices in OECD Countries”
- Shimizutani, S. and W. Suzuki (2002) “The Quality and Efficiency of At-Home Long-term
Care in Japan: Evidence from Micro-level Data,” ESRI Discussion Paper No. 18,
December 2002, 内閣府経済社会総合研究所

第3節について

- 財務省 (2002) 「地方財政システムの国際比較」 報告書、財務総合研究所
- 吉田博光 (2003) 「市町村合併による経済効果の再検討」 JCER Review Vol. 46、日本経済研究
センター

第4節について

- 経済産業省・経済産業研究所 (2002) 「日本版 P P P の実現に向けて」、日本版 P P P 研究会
中間報告
- 内閣府 (2003b) 「政策効果分析レポート 2003」
- 内閣府 (2003c) 「行政サービスの民間開放等に係る論点について」、経済財政諮問会議資料
- 内閣府 (2004) 「P F I 推進委員会中間報告－P F I のさらなる展開に向けて」、民間資金等
活用事業推進委員会
- 内閣府 (2005) 「世界経済の潮流 2005 春」
- Joumard, I., P. M. Kongsrud, Y. Nam and R. Price (2004) “Enhancing the Effectiveness
of Public Spending: Experience in OECD Countries,” Economics Department Working
Paper No. 380, OECD

第3章

第1節について

経済企画庁（1995）「平成7年度年次経済報告」

経済企画庁経済研究所（1999）「エコノミストによる教育改革への提言」

内閣府（2003）「平成15年度年次経済財政報告」

武藤博道・原田信行（2002）「少子・高齢化と日本の消費フロンティア」JCER Discussion Paper No. 79、日本経済研究センター

第2節について

経済企画庁（1999）「平成11年度年次経済報告」

国土交通省（2005）社会資本整備審議会住宅宅地分科会基本制度部会（第4回）資料8「住宅事情について」

住信基礎研究所（1997）「超高齢社会の常識リバースモーゲージ」日経BP社

鈴木亘・児玉直美・小滝一彦（2004）「公的介護保険導入と老後不安感、予備的貯蓄」『「家計の金融資産に関する世論調査」の個票データを用いた研究会報告書I』金融広報中央委員会

田近栄治・油井雄二（2004）「介護保険：4年間の経験で何がわかったか」フィナンシャル・レビュー72号、財務総合政策研究所

チャールズ・ユウジ・ホリオカ（2004）「団塊世代の退職と日本の家計貯蓄率」、樋口美雄、財務総合政策研究所編『団塊世代の定年と日本経済』日本評論社

福田公正・中村 隆（1995）「ベイズ型コウホートモデルによる家計貯蓄率の分析」『統計数理』第43巻第2号313-327、統計数理研究所

中川忍・片桐智子（1999）「日本の家計の金融資産選択行動」日本銀行調査月報（1999年11月号）

八代尚宏・鈴木玲子（2005）「家計の改革と日本経済」日本経済新聞社

UFJ総合研究所（2004）「改めて注目されるリバースモーゲージ」

Catte, Pietro., N. Girouard, R. Price and C. André (2004) “Housing Markets, Wealth and the Business Cycle,” Economics Department Working Paper No. 394, OECD

Deaton, A. (1997) “The Analysis of Household Surveys: A Microeconomic Approach to Development Policy,” The World Bank, The Johns Hopkins University Press

Eschtruth, A. D. and L. C. Tran (2001) “A Primer on Reverse Mortgages,” Center for Retirement Research at Boston College

Fougère, M. and M. Mérette (1999) “An Econometric Examination of the Impact of Population Ageing on Personal Savings in Canada,” Department of Finance Canada Working Paper 99-03

- Mankiw, N. G. and D. N. Weil (1988) “The Baby Boom, the Baby Bust, and the Housing Market,” NBER Working Paper No. 2794
- Mitchell, O. S. and J. Piggott (2004) “Unlocking Housing Equity In Japan,” NBER Working Paper No. 10340
- OECD (2004) “Aging and Financial Markets”
- Poterba, J. (2004) “The Impact of Population Aging on Financial Markets,” NBER Working Paper No. 10851
- Tokita, T., T. Chino, H. Kitaki, I. Yamamoto and M. Miyagi (1997) “The Present and Future National Medical Expenditure in Japan,” The Economic Analysis No. 152, Economic Research Institute, Economic Planning Agency, Japan

第3節について

- 久保知行 (2004) 「わかりやすい企業年金」日本経済新聞社
- 玄田有史 (2004) 「ジョブクリエーション」日本経済新聞社
- 厚生年金基金連合会 (2004) 「企業年金に関する基礎資料」
- 社会経済生産性本部(2005) 「第8回 日本的人事制度の変容に関する調査」
- 野村総合研究所 (2004) 「『自分の職場にいる今後5年以内に定年を迎える方に対する見方』に関するアンケート調査」
- 樋口美雄、法専充男、鈴木盛雄、中東雅樹、橋本択摩 (2004) 「労働市場における団塊世代の特徴とその定年の影響」、鈴木準 (2004) 「団塊世代と企業の人件費負担」、樋口美雄、財務総合政策研究所編『団塊世代の定年と日本経済』日本評論社
- 特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC)シニア研究所、(株)プラン・ドゥ (2004) 「団塊世代の“シニアデビュー”が社会を変える市場を変える」
- Kwan, S. (2003) “Underfunding of Pension Plans,” Federal Reserve Bank of San Francisco, Economic Letter No. 2003-16

第4節について

- European Communities (2004) “Innovation in Europe – Results for the EU, Iceland and Norway”
- Kremp, E. and J. Mairesse (2004) “Knowledge Management, Innovation and Productivity: A Firm Level Exploration Based on French Manufacturing CIS3 Data,” NBER Working Paper No. 10237
- OECD (2004) “OECD Science, Technology and Industry Outlook 2004”